



建方1番

スクリュー
ドライバー
ツールケースソケット
レンチ
ヘキサゴンスパー
ドリル
フライヤ
ドリルドリル
ビット
ドライバー自動
工具車
ツア
イルその他
トルク
レンチシフト
ドリル
ファ
コム建方1番
レンチラン
ナー
シャ
ットル

その他

TATEKATAICHIBAN

建方1番

1次締専用レンチ

約2/3の時間短縮が可能です。

作業時間の短縮・低騒音・作業性・操作性・安全性に優れたレンチ。

近年…施工基準の遵守が厳しく求められています。しかし、“1次締め”作業に使用されているトルクレンチ・ナットランナー・インパクトレンチ等には、それぞれ大きな問題点があります。一方、作業者は高齢化等の諸問題を抱え、より高能率・高精度・そして軽量化が求められます。トネ建方1番は、ユーザー様の強い要望により開発された製品で、“1次締め”を能率よく行うことができる1次締専用レンチです。建方1番1次締専用レンチは、現在行われている“1次締め”作業と比較すると、作業時間の短縮・低騒音・作業性・操作性・安全性に優れたレンチです。尚、このレンチの一番の特長は、作業時間の短縮を可能にしたことです。

●トルクレンチ・ナットランナー・インパクトレンチによって行われている1次締作業には、それぞれに次のような問題点を抱えております。

〔ナットランナーの場合〕

反力受けがレンチ本体に固定されているため、ソケット部をナットに挿入する場合、レンチ本体を回して合わせなければならない。また反力受けが部材に当たるまでレンチ本体が共に回り、作業者が保持しにくい。作業性・操作性が悪く作業時間を要する。

〔トルクレンチの場合〕

手動作業のため、作業者への負担が非常に大きい。また作業性が悪く作業時間を要し、安全性に欠ける。

〔インパクトレンチの場合〕

騒音の問題があり、またトルク精度が悪く安定した締付トルクが確保できない。

“建方1番”は建築工事標準仕様書(日本建築学会)JASS6鉄骨工事、第6節「高力ボルト接合」に定められているトルク法による六角ボルトおよびトルシア形高力ボルトの“1次締め”用にご使用して頂くため、前田金属工業(株)が開発いたしました電動締付機です。